

尺八生演奏に感動 生徒もチャレンジ

川棚特支

東彼川棚町小串郷の県立川棚特別支援学校（松田竜司校長、99人）で12日、都山流尺八大師範の高橋崎山さん（72）による尺八の演奏会があり、高等部と小学部の児童生徒が美しい音色に聞き入った。

高橋さんは以前、同校の教頭を勤めたことがあり、当時の同僚だった松田校長が「児童生徒に和楽器の本格的な演奏を聞かせてほしい」と依頼した。高等部1年生の前では、江戸時代の古典曲から「パプリカ」などポップスまで古今東西の6曲を披露した。

高橋さんは、尺八の長さや息を吹く角度、強度によつて「幅広い音色が出せる」と説明。生徒も塩ビ管と呼ばれる練習用の尺八で演奏に挑戦した。高等部1年の瀬田輝暉君は「尺八の生演奏を初めて聞き感動した。体験ではうまく吹けたけど頭がクラクラしました」と感想を話した。

（六倉大輔）



生徒に尺八演奏のこつを教える
高橋さん（左）

県立川棚特別支援学校